

# ONE BRAND

+ONE LOVE INTERVIEW

## おおたわ史絵

vol. 34



犬と子どもと  
アウトドア

in 群馬県ならまた湖





Photo:Junpei Hareyama



# 犬と子どもとアウトドア

ことしの夏は、いろいろあって、かなり暑くなりそうな気配がいっぱい——。  
というわけで今回は、暑がりやの犬と遊び好きの子どもたちが  
いっしょに夏を楽しめる絶好ポイントを探してみることに。  
見つけたのは、群馬県にある「ならまた湖」周辺。  
わんこカヌーあり、犬連れOKのキャンプ場ありで、もう、いうことなし！

in 群馬県ならまた湖



犬と子どもとアウトドア



犬といっしょにカヌーに乗って、  
大自然のど真ん中を体感しよう！



「ならまた湖」は、群馬県北部の奥の奥、ブナの原生林が生いしげる山々に囲まれたダム湖です。

ふつう、ダム湖といえば濁った水が思い浮かびますが、ならまた湖の透明度は3メートルもあり、溪流のように水が澄んでいることで有名です。そして、そして、このキレイな湖は、知る人ぞ知る「わんこカヌーツアー」が楽しめる湖として、近年大注目のポイントとなっているのです。

というわけで、今回はここで中島ファミリィがはじめての犬連れカヌーにトライ！都会の暑さから逃れられることはもちろん、大自然のなかで思いつき犬と遊ぶことは、子どもの心をゆたかにするし、家族での非日常・冒険体験がはきつとその絆を深めてくれるはず。

10分ほどの講習の後、ミニチュアダックスフントのジャム(7歳オス)を乗せた二行は、スートと湖岸を離れいよいよスタート。パパ、ママだけでなく、幼稚園生の唯ちゃんと劉之介くんもけんめいにパドルを動かしています。みんな最初はちよつと怖かったけど、湖面を滑っていく感じがとっても気持ちいい！

カヌーに乗ると目線が水面に近くなるせいか、ゆつくりでもスピード感は満点。途中、耳に入るのは、パドルが水をかく音ぐらゐ。森の静けさの中、ときどき大鷹が「ピー」と空高く鳴く声はつきり聞こえます。湖の奥に進めば切り立った岸壁が迫ってきて、まさに「大自然のど真ん中」！(ときどきカモンシカの姿も目撃できるそう)この素晴らしい環



ならまた湖は急な流れがないため、初心者でも10分ほどの講習で即カヌーに乗れるようになる。また、湖面に乗りだすときは、人も犬もライフジャケットを着用するので、万が一ひっくり返っても大丈夫。なにより、ツアーではベテランのネイチャーガイドさんがいつも傍でみんなを見守ってくれているから、余計な心配はご無用。



境にジャムも大興奮し、ついには湖面へとダイブ！装着しているライフジャケットのおかげで、ブカブカと浮かびながら、カヌーの周りを楽しそうに泳ぎまわります。それを見た唯ちゃんと劉之介くんは「ジャム、こっちだよ！がんばれ！」と、これまた大はしゃぎ……。中島ファミリーの初のカヌー体験は、大人にも子どもにも犬にも、予想以上の満足感をもたらしたのでした。

2時間のツアーを終えた後、ガイドをしてくれたFANTAILの斎藤材さんが、犬と子どものはじめてのカヌー体験の効用について、こんな面白い話してくれました。

「犬も子どもも、乗り終えると、みんな顔つきがすっかりする傾向があります。きつと、ひとつの小さな冒険を終えて、心のなかに自信のようなものが芽生えるんでしょうね……。かわいい子には旅をさせろっていいですが、愛犬家の家族のみなさんは、犬と子どものダブルでそれが実感できる。ラッキーだと思いますよ(笑)」



# 大自然のなかで、子どもと犬連れキャンプを謳歌しよう！

ならまた湖の楽しみは、カヌーだけではありません。

湖畔には、犬連れOKの広いキャンプ場「オートキャンプパーズエリアならまた」があり、思いっきり自由にアウトドアライフが満喫できるようなっているのです。

カヌーツアーを終えたばかりの中島ファミリィは、みんなお腹がペコペコだったので、まずはバーベキュータイムへと突入！湖ではサクラマスなどの天然の食材も釣れるけど、今日はもちこんだお肉や野菜をジュージュー焼くことに。おいしく焼き上がったピーマンやフランクフルトをほおばりながら、パパ、マ

マは「家族みんなでおいしい空気のなか味わうと格別だね」と感嘆。子どもたちも「おいしくって、いっぱい食べられる！」と大満足です。

ジャムと、今回カヌーに乗らなかったメイザ(ロットワイラー7歳メス)も、大好きな青空の下でみんなといっしょにいられることがうれしくてたまらない様子。バーベキューの後も、唯ちゃんと劉之介くんといっしょに森をお散歩したり、ロングリードを付けておもちゃを追いかけたり…。今日はとびぎりハッピーな笑顔！

キャンプ場の管理人さんは、そんな彼らの楽しそうな姿を見ながら、ならまた湖周辺の魅力を次のような言葉で語ってくれました。「じつは、ここ一帯はカナダやニュージーランドの雄大な自然にそっくり。東京から車でわずか3時間のところに、こんな素晴らしい場所があるというのは奇跡といつていい。普段、街中に暮らす犬、子どもたちは、理屈ではなく、体でその喜びを感じるんじゃないでしょうか」

犬がハッピーになり、子どもの心がゆたかになり、そして自然と家族の新たな絆が深まる……。この夏は、犬と子どもとアウトドアへゴー！です。



自然あふれる広大なキャンプフィールドには、子どもの遊びヒントがいっぱいつまっている！



せっかくのアウトドア。日ごろ運動不足気味の犬も思い切り遊ばせてあげたい。オススメは、Hartz®のタフスタッフシリーズ。丈夫なポリエステル生地を使用し、安全性もバツグン。しかもとってもオシャレ！ <http://www.hartz.jp>



## ならまた湖での 「わんこカヌーツアー」について

犬も子ども大人も大自然の素晴らしさが満喫できるならまた湖での「わんこカヌーツアー」。初心者でも楽しめますので、みなさんの参加をお待ちしています。なお、FANTAILでは、犬連れの方に、愛犬へのワクチンや狂犬病等の予防接種についての確認をさせていただいているほか、マナーの徹底も呼びかけております。周辺の美しい自然を守る意味でも、どうかご理解とご協力をお願いします。また、私たちは犬の気質に合わせて、通常とは異なる形態のツアーも組んでおりますので、気になる方はぜひご相談ください。

●住所:群馬県利根郡みなかみ町藤原4995-23

●お問合せ:tel&fax.0278-75-2960

e-mail:touch@fan-tail.com

●HP:http://www.fan-tail.com

### FANTAIL代表・ガイド 斎藤材さん



さいとうあさき●1968年兵庫県生まれ。会社員生活を経て、29歳でニュージーランドに渡り、アウトドアライフの技術を磨く。帰国後、群馬県みなかみ町でネイチャーガイドとしての活動をはじめ、2003年にFANTAILを立ち上げる。ならまた湖周辺では初となる犬連れカヌーツアーを開始したことで有名。なお、奥さまの久仁子さんは元トリマーで、犬に関するさまざまな知識を有している。

## 「オートキャンパーズエリア ならまた」の利用について

このキャンプ場は犬連れOK。気をつけるべきマナーは、基本的に街中と同じで、リードをつけることや排泄物の後始末などの励行が必要。一泊の利用料金は自動車・キャンピングカー乗り入れで利用できる普通サイトで4,500円、AC電源サイトで5,500円。なお、テントやバーベキューセットなど、キャンプに必要な道具はすべて有料で借りられます(念のために事前予約を)。



### オートキャンパーズエリアならまた

●住所:群馬県利根郡みなかみ町藤原洗の沢

6322-2

●お問合せ:tel.0278-75-2700

●HP:http://www.norn.co.jp/camp/



大好きなお肉を頬張りながら、「いつもより美味しいね」と唯ちゃん(右)と劉之介くん。

涼しくてキレイな空気のなかでのバーベキューは、格別に楽しくて、格別に美味しい!

# マイクロチップ普及には、 飼い主の意識向上と 制度の充実がマストです。

NPO法人アニマルレフュージ関西(ARK=アーク)は、1990年から活動をつづけている動物救援組織。今回、その代表を務めるエリザベス・オリバーさんに、マイクロチップ(MC)の普及に、なにが必要かを伺った。



## One's Interview

NPO法人アニマルレフュージ関西代表

### エリザベス・オリバーさん

のは大切でしょうね。

——日本では、たとえばどのような制度があればいいとお考えですか？

**オリバー** まず第一には、畜犬登録と同じようにMC装着を義務化することでしょう。行政側も、鑑札の代わりにMCで管理するようになれば、情報が一元化され、人件費の削減にもなるのではないのでしょうか。次に、愛護センターや保健所で、保護した犬に必ずMCスキャンするというシステムが確立すること。その事実が広く知れ渡れば、わが子を思う飼い主なら、積極的にMCを装着する行動にでるのではないのでしょうか。さらに、国によっては、不妊手術をすれば犬の登録料が安くなるケースがありますが、日本でも、不妊手術はもろろん、MCを装着していれば登録料が安くなる等のインセンティブがあってもいいかもしれませんね。

### 犬を悲しい目にあわせないために！

——ARKは、保護犬にマイクロチップ(MC)を装着していますか？

**エリザベス・オリバーさん**(以下**オリバー**) はい、ARKで保護した犬たちには必ずMCを装着するようにしています。

——その理由は？

**オリバー** 首輪の鑑札だけだと、いざというときに外れてしまう可能性があるからです。今回の東日本大震災でもたくさん迷子犬がでてしまいました。が、このようなケースで一番確実に家族を見つけれられるのは、やはりMCだと考えています。私たちは犬を保護

し、新たな家族を探す役割を担っている。この先その子たちには再び家族と離れて出会えなくなるような悲しい目にあわせたくないと思っているのです。

——いままでMCを入れていたことで、犬が助かったというような事例はありますか？

**オリバー** ある犬が一時預かり宅から逃げてしまったことがありました。そのとき、預かりさんは「どうしよう」とパニックになったみたいですが、ほどなくして世田谷区の動物愛護相談センターからARKに連絡がきて、こたなきを得ました。ちなみに、同センターでは保護してから処分するまでの間、1頭につき3回スキャンしてMC

装着の有無を確認するそうなのですが、それまで実際に検出されることはほとんどなかったため、MCを装着した犬がいることに大変驚いたとおっしゃっていました。

### マイクロチップ装着の義務化が理想

——海外では日本よりもMCが普及していると聞きます。

**オリバー** はい。とくにヨーロッパでは普及率が高いと思います。イギリスなどは法律で決められていなくても、飼い主自ら入れる人が多いようです。——海外で普及している要因や、日本も見習うべき部分があれば教えてください

さい。

**オリバー** 個人個人の意識の違いもありますが、2004年からEU加盟諸国で導入されたペットパスポートも一つの要因になっているかもしれません。ヨーロッパでは、陸つづぎで外国に行くため、休暇の際に愛犬を外国へ連れて行く人が多いのですが、以前は出入国のたびに検疫を通さなければならず、手続きが大変時間がかかりました。ところが、いまはMCが入っていればそれがペットパスポートとなり、出入国の手続きが簡素化されるようになってきているのです。日本ではペットを連れて海外旅行へ行く人は少ないでしょうけれど、MC装着推進に向けて、こういう制度面での後押しという

——ARKとしてMC普及のために取り組んできたこと、また今後取り組んでいくことがあれば教えてください。

**オリバー** 2000年からARKの犬にはマイクロチップの装着を行なってきました。猫についてはこれまで、海外に連れだす里親さんの場合だけ入れていきましたが、今後は猫にも装着していくことを検討しています。

えりざべす・おりば ●1940年英国生まれ。ノッティンガム大学で農学、ロンドン大学で日本語を専攻。65年に来日し、英語教師を務めるなかで、90年にアニマルレフュージ関西(ARK=アーク)を設立。95年の阪神淡路大震災では600匹を超える被災犬や猫たちを保護し、以後ARKの活動に専念。

<http://www.arkbark.net>

ONE LOVEプロジェクトは

# 犬の殺処分をなくし、 人と犬との明るい未来をつくる プロジェクトです



人と犬がもっと豊かに暮らせる社会をめざしている  
ONE BRANDでは、1頭でも多くの犬の命を救うために、  
2008年より動物保護団体への寄付、情報発信による啓発、  
保護犬の譲渡支援を行なう「ONE LOVEプロジェクト」を  
実施しています。ONE LOVEプロジェクトは、  
「できることから始めよう!」をモットーに、  
犬を愛するみなさんに参加いただくことで、  
幸せな犬たちを増やしています。



# 87,119 頭

保健所に收容される  
犬の数

(平成 22年環境省発表)

【收容される理由】

- 捨てられた犬や迷子犬を保護
- 無責任な飼い主の飼育放棄による持ち込み
- 動物取扱業者による持ち込み

# 61% 殺処分される 犬のパーセントと数

- 元の飼い主のもとに戻れなかった犬
- 動物保護団体にレスキューされなかった犬
- 新しい飼い主に譲渡されなかった犬

# 53,268 頭



殺処分される犬を減らすためには、  
保健所に收容された犬を引き取り新しい飼い主を探している、  
動物保護団体を支援していくこと。  
そして、「犬を飼おう」と考えた時に  
「保護犬」を選択する人を増やすために、認知を広める必要があります。

今すぐ、できることから始めませんか？



## 今すぐ参加できる寄付・啓発・支援



- ONE LOVEサポーター会費
- ONE LOVEグッズの売上
- 協賛企業・賛同者からの寄付金から毎月、動物保護団体に寄付しています。



### ONE LOVEプロジェクト事務局



動物保護団体  
12団体  
(2012年12月現在)



ONE LOVE  
プロジェクト  
啓発活動費

ONE LOVE プロジェクトでは、一定の審査を行なった信頼のおける動物保護団体に、長期にわたり定期的に行える寄付支援をしています。

## 誰でもできる 月1,000円からのサポート

### ～ ONE LOVEサポーター～

保護犬をレスキューする動物保護団体への寄付や、犬たちが置かれた現状をより多くの方々へ啓発していく活動を支援して下さる「ONE LOVEサポーター」を募集しています。あなたもできることから始めませんか？

#### ●サポーターには・・・

- ①『ONE BRAND』マガジンを奇数月にお届け
- ②サポーター会報誌を偶数月にお届け
- ③ONE LOVE会員カードの発行
- ④ONE LOVEメールマガジン配信



ONE LOVEサポーターへのお申し込み、お問合せ

<http://www.onelove.cc>

☎03-5575-2363

※サポーター会費は1,000円から金額を選べます。  
※現会員も金額の変更ができます。



携帯はこちら

## お買い物でも サポートできます！

ONE BRAND Shopping (WEB) 内の全ての商品は、売上の一部が動物保護団体への寄付になります。

1頭でも多くの犬たちを救うために、楽しいショッピングは、ぜひONE BRAND Shoppingで！



迷子札

<http://www.obshopping.jp/>

☎03-5575-2363 10:00～17:00(土日、祝日を除く)



携帯はこちら

### ONE LOVEプロジェクト 寄付先団体 (50音順)

※2012年12月末  
現在

- NPO法人 ARK (アニマルレフュージ関西)  
<http://www.arkbark.net/>
- 石川ドッグレスキュー  
<http://dogrescuejp.net/>
- NPO法人 しっぽのなかま  
<http://shippononakama.kuronowish.com/>
- ちばわん  
<http://animal-note.cool.ne.jp/>
- 動物いのちの会いわて  
<http://www.inochinokai.com/>
- Dog Shelter (ドッグシェルター)  
<http://dogshelter.jp/>
- NPO法人 日本動物生命尊重の会  
<http://www.npo-alis.org/>
- Happy Labs (ハッピーラブズ)  
<http://www.happylabs.jp/>
- PAK (Paws Adoption かながわ)  
保健所の犬・猫を救う会  
<http://homepage3.nifty.com/nazozen/>
- NPO法人 ペット里親会  
<http://petsatooyakai.web.fc2.com/>
- NPO法人 保健所の成犬・猫の譲渡を推進する会  
<http://npo.seiken-joto.org/>
- NPO法人 Wonderful Dogs  
<http://www.wonderful-dogs.com/>

4,653,518円

(2012年1月～11月)

これまでの寄付金総額

27,049,937円

(2008年4月22日～2012年11月末現在の累計)

寄付金の詳細については、ONE LOVEサイト内「寄付金の報告 donations report」をご覧ください。

<http://www.onelove.cc/>

**ONE** BRAND vol. **34**